

農業委員会だより

第102号

令和7年12月

年3回発行

8・12・2月

発行・問合せ 練馬区農業委員会 〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1 ☎5984-1398

新制度のご紹介

練馬区初！ 認定新規就農者が誕生！

令和7年度から開始した「認定新規就農者制度」を活用し、新たに就農した赤塚さんに、お話を伺いました。

練馬区で
農業はじめました！

● 練馬区で就農したきっかけは？

実家近くの高橋農園(南大泉)でのアルバイトの経験に加え、地域住民との距離が近いことに魅力を感じて就農しました。

● 制度を活用した感想は？

補助金による資金面の支援や相談のしやすさといった心強いサポートに助けられました。また、認定があることで農地の確保や信頼づくりにもつながりました。

● 今後実現したいことは？

武蔵村山市にも畑があるため、この練馬農園は収穫体験などのイベントを通して人とつながり、知ってもらい、両方の畑に来てもらうための「起点」となるような場所にしていきたいです。

認定新規就農者制度とは？

将来において地域農業の担い手に発展する新規就農者(農業経営を開始してから5年以内の青年等)を支援する制度です。区が「青年等就農計画」を認定し、計画達成に向けて農業用機械の購入やハウス整備などに使える補助金、就農初期の所得支援などが受けられます。 認定農業者担当 ☎5984-1398

若松屋 練馬農園

あかつか こうたろう
赤塚 功太郎 さん



◀ 制度の詳細は
区ホームページへ

練馬区長から認定証を交付

(令和7年度 認定農業者等認定証交付式)

新たに農業経営を営もうとする「認定新規就農者」として、区内で初めて赤塚さんが認定され、10月16日、前川耀男区長から認定証が交付されました。

練馬区初の認定新規就農者となった赤塚さんは「収穫体験をメインにしているため、多くの方に足を運んでいただけるよう、様々な作物を植えてお客様に楽しんでいただきたい」と今後の意気込みを語りました。



来年度の認定手続きについては、次号(2月発行)でお知らせします。

未来の農業を支える

新規就農者のご紹介

東京都農林水産振興財団では、毎年新たに就農された方へ奨励賞を贈呈しています。

昨年に就農し、今回の奨励賞を受賞された4名の方をご紹介します。

質問事項 ① わたしのイチ押し ② 就農の経緯や就農後のご感想 ③ 今後の目標

石神井地区



いしだ かつえ 石田 活衛 さん(51)・ゆみこ 由美子 さん(48)

- ① ぶどう(ヌーベルローズ)、手作りの芋けんぴ
- ② 子どもの頃から身近にぶどう栽培がありました。「モノ」だけでなく、「コト(体験)」を届けられることに魅力を感じています。(由美子さん)
- ③ 芋けんぴの「揚げたて移動販売」やワークショップも展開し、幅広いお客様に農業の魅力を届けていきたいです。(活衛さん)

収穫体験が好評！



大泉地区



あいだ りょういち 相田 亮一 さん(35)

- ① 幅広い品揃え(野菜、花、果樹、苗)
- ② 婿入りをきっかけに、体力のあるうちに早く技術を身につけようと、会社員を辞めて就農しました。自然相手の難しさを痛感していますが、成長できることにやりがいを感じます。
- ③ まずは安定して作物を提供し、地域のお客様に喜んでいただけるようになりたいです。

ここに来れば何でも揃う！



大泉地区



いぐち としき 井口 敏樹 さん(33)

- ① 果樹栽培も体験できる農業体験農園
- ② 祖父の他界を機に会社員を辞めて就農しました。父から学び、充実した日々です。この環境で農業ができることに感謝しています。
- ③ 地域貢献を念頭に、代々受け継がれてきたものを大切に、次世代が農業をやりたいと思えるように取り組んでいきます。

利用者さんとも仲良し♪



うちの農業 vol.3



25期農業委員会副会長(春日町)

しのだ まさみ 篠田 政巳 さん

温州ミカンの主幹仕立てに挑戦中！

これまでの野菜中心の栽培体系から、市場での付加価値や、老後の手入れのしやすさを考え、果樹栽培に切り替えています。

現在、広島県の温州ミカンの中生品種である「石地(いしじ)」を、主幹仕立てで栽培しています。樹冠を円筒形に仕立てることで、幅を抑えて風通しもよくなり、省力化や病害虫の発生抑制が期待できます。

見た目だけでなく味で勝負したいと、自ら情報収集しています。



▲ 主幹を上へ誘引します



チュウゴクアミガサハゴロモにご注意！

令和7年1月、東京都病虫害防除所からチュウゴクアミガサハゴロモについて特殊報が発表され、練馬区でも見かけることが多くなっています。

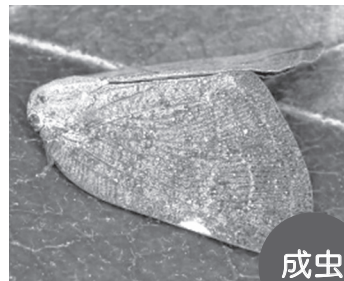
登録農薬がないため、捕殺や産卵枝の除去等、適切な対応をお願いいたします。

形態

成虫：体長14～15mm。茶褐色から鉄さび色の前翅の前縁中央部に扁平で半円形の白斑があります。

幼虫：白色で腹部から白い糸状の口物質の毛束を広げます。

卵：樹木などの枝に産み付けられ、産卵痕は白色の口物質で被覆されています。



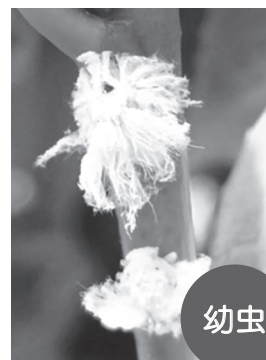
成虫

寄生植物

広食性です。チャ、カンキツ、ブルーベリーなど多くの樹木類、キク科の草本植物、ナスなどの野菜への寄生も確認しています。

被害

産卵の際に枝を傷つけ、枝の枯死や樹勢の低下が生じることがあります。成虫および幼虫は枝に寄生し吸汁します。発生が多いと、排泄物ですす病が発生します。

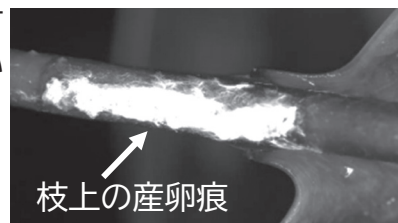


幼虫

対策

令和7年1月現在、本種を対象とした登録農薬はありません。

成虫や幼虫を捕殺、また産卵された枝を圃場外に持ち出す等、適切に処分してください。特に、冬期に剪定を行わない常緑樹は、産卵枝の確認をお願いいたします。



枝上の産卵痕

【問合せ】

区部農業改良普及センター城北分室

☎5946-9326

*写真はすべて東京都病虫害防除所提供



野焼きは原則禁止です

野焼きは、病虫害の防除や霜害対策など、営農上やむを得ず行う場合を除き、法令※により、原則禁止されています。

毎年、区民の方から野焼きの苦情が寄せられています。やむを得ず行う際は、周辺の生活環境に支障がないよう、ご配慮をお願いいたします。

【野焼きを行う際の留意事項】

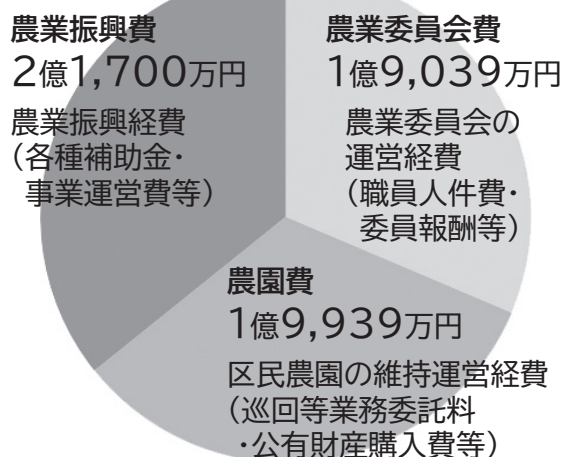
- ・必要最小限の量にとどめる
 - ・近隣の方に事前に周知する
 - ・焼却前に十分乾燥させてから行う
 - ・洗濯物が干されていない時間帯を選ぶ など
- (※)「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」(東京都)

【問合せ】農業委員会事務局 ☎5984-1398

環境課環境規制係 ☎5984-4712

令和6年度 農業関係決算額

練馬区決算(農業費) 6億678万円



ねりま農サポーターが

あなたの現場の力になります

累計活用件数

197 件

(令和7年5月現在)

? ねりま農サポーターとは

「練馬区立農の学校」で、農作業の支援に必要な基礎知識や作業手順等を習得し、区の認定を受けています。区内農業者の支え手として、繁忙期の人手不足などに対応しています。



「農の学校事業」

サポーターの育成のほか、農業者とのマッチングも行っています。

詳しくは
区ホームページへ ▶



受け入れ農家 富岡 誠一 さん

トマトの養液栽培を始めたのをきっかけに、7年前から来てもらっています。
1人居ると作業が3倍進むので、とても助かっています。



ねりま農サポーター 吉田 さん・山本 さん

週1回の活動ですが、富岡さんが丁寧に教えてくれて、今では指示がなくても動けるようになりました。
農家さんの野菜に自分の手が加わっていると思うと、すごくうれしくなります。



安心のサポートがあります！／

簡単4ステップ！活用までの流れ

①



受入農家
登録

②



引合せ
(条件等の確認)

③



援農体験

④



マッチング
【援農スタート！】

まずはお気軽に
ご相談ください♪

都市農業課
(農業振興係)
☎5984-1403

農業者年金に加入しませんか

積み立てた保険料とその運用益により、年金額が決まる長期安定型の年金制度です。いつでも加入できます。加入要件等の詳細は、農業委員会事務局またはお近くの JA 東京あおばまで。

編集後記

今年も地球温暖化による長期的な気温の上昇、極端な大雨の増加、猛暑日の増加などにより、全国の農作物の品質・収量の低下、生育障害、病害虫の増加、栽培適地の変化に見舞われ、多岐にわたる深刻な影響が生じています。

ここ練馬の地でも、今後は適応品種の導入、栽培技術の工夫等に早急に取り組む必要を感じています。農業委員会も情報を早くキャッチし発信していきたいと思います。(加藤 直正)

広報部会委員

部会長	篠田	政巳
部会員	加藤	直正
部会員	神田	靖仁
部会員	櫻井	祐次
部会員	橋本	良子